



2023年 3月268号

# ふるさと



## グループホームあじさい園

群馬医療福祉大学

山口智晴教授の講座原文の一部より

『福祉の分野でいう「自立」とは、その人が自分の能力を活かして主体的に社会の中で生活を営むことであり、動作が自分一人だけでできるという意味ではありません。認知症があれば、今までと比べて生活でのつまずきも増して不便なことは増えるでしょうが、それが不幸とは限りません。認知症になったのはその人の連続している人生の一部のイベントなので、認知症になってもその人が主体的に社会に参加できる環境があることが重要です。』

認知症という言葉をもっとポジティブにとらえる社会になるとよいと思っています。昔はがんが見つかったとしても、本人には伝えず、家族に告知され、最期に本人がうすうす気付くという時代もありました。しかし、今ではがんサバイバーという言葉もあります。認知症を排除するのではなく、ともに生きる社会になれば救われる人もたくさんいると思います。認知症は「恥」「隠すもの」という偏見が残っているからこそ、ご本人にも、隠そうと取り繕う心理が働きます。歳をとれば誰でもなる可能性を秘めているからこそ、認知症を診断されたらお互いさま。「認知症って診断されたから、忘れよう」と周囲に宣言できるくらい安心して、忘れられる社会になれば、取り繕い反応も少なくなるかもしれません。きっとがんに対する社会の考え方が変わってきたように、認知症に対する社会の考え方も、前向きに変わっていくのを期待しています。そして、認知症とともにもっと幸せに生活できる社会になるのだと思います。』

認知症になっても幸せに生活できる地域づくりを、地域の皆様と一緒に考えていくことも、社会福祉法人の大事な責務です。あじさい園、あじさい園宝、オレンジカフェ水門の便りやホームページを通して、認知症や認知症ケアについて情報公開し、理解を深める活動を継続してまいります。

また、令和5年4月3日、南肘塚町の特別養護老人ホームあじさい園宝の敷地内に、グループホームあじさい園宝認知症対応型共同生活介護を開設します。

理念を胸に努めてまいります。今後ともご指導ご支援をよろしくおねがいいたします。

### 3月の行事予定

- 3日(金) ひな祭り
  - 7日(火) 防災訓練(土砂想定)
  - 14日(火) 運営推進会議(書面)
  - 19日(日) 昼食会
  - 22日(水) 防火訓練
- ※塩田医師の定期往診もあります。



### 節分豆まき 福は内～

無病息災を祈願して皆様に豆まきをしていただきました。職員手作り鬼の顔めがけて力いっぱい豆を投げられ、おやつの中には甘納豆を召し上がっていただきました。「年の数も食べられへんわあ」と終始笑顔でした。



### たこ焼きパーティー

関西の定番たこ焼きを皆様に振る舞いました。外はカリッと中はトロ～リの職員渾身のたこ焼きをハフハフと熱さと戦いながら召し上がっておられました。

「熱いけどサイコー！」と大変喜んで下さり、準備した食材は全て売り切れとなりました♪



### お誕生日会

小寺益美様のお誕生日会を皆様と一緒に祝いしました。色とりどりのケーキを囲みご満悦のひと時を過ごしました。

